

**TERZO JX51**

MITSUBISHI デリカ スペースギア

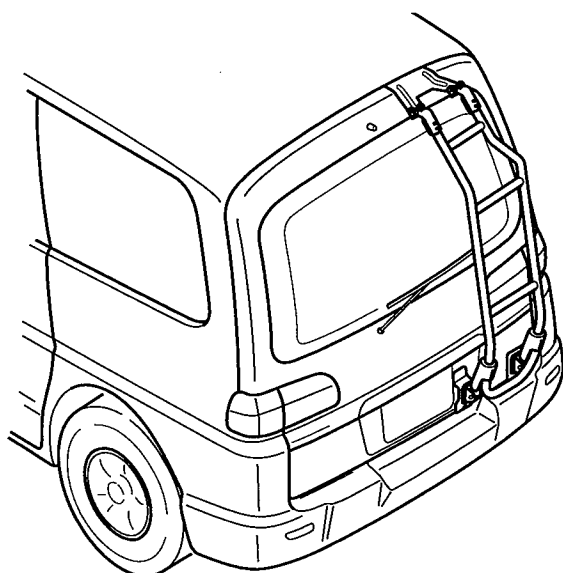
ハイルーフ車専用 リアラダー 取扱説明書

この度はTERZO製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。  
正しくお使い頂く為に、取扱説明書を良くお読みください。  
この取扱説明書はなくさないよう、大事に保管しておいてください。

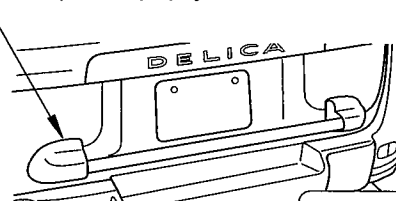
適用車種 / MITSUBISHI デリカ スペースギア ハイルーフ車専用  
(クリスタルライトルーフ含む、テールゲートグリップ装着車除く)  
※ナンバープレートガーニッシュとの同時装着はできません。

年式 / H6.5～

型式 / PA4、5W、PB5、6W、PC5W、PD4、6、8W、PE8W、PF5、8W

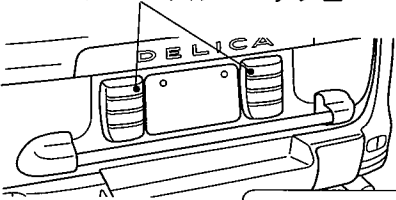


テールゲートグリップ



適用不可

ナンバープレートガーニッシュ



同時装着不可

お客様へお願い

……この商品を貸したり譲ったりする場合は、必ずこの取扱説明書を含めてお渡しください。

取付店様へお願い

……この取扱説明書は、取り付け後必ずお客様へお渡しください。

※この本文中の **⚠注意** マークと **⚠警告** マークは、取り付け上に関する重要な注意事項です。安全かつ確実に作業して頂く為、必ず厳守してください。

## 使用上のご注意

- 走行前及び、走行後には必ず、ボルト類の緩みがないか、点検及び増し締めを行ない、ガタツキがない事を確認してください。ガタツキのあるまま走行すると、脱落の危険があります。必ず定期的にボルト類の緩みがないか点検し、緩みがある場合は、増し締めを行なってください。
- リアラダー積載時、最高速度は法定速度以下におさえ、急旋回、急ハンドル、急発進、急ブレーキを避け、運転には充分ご注意ください。特に、急カーブや悪路、強い風、向い風を受けるような場合は、運転特性を損なう事がありますので、スピードを充分おさえ、走行してください。
- リアラダー積載時には、悪路等において過度な運転をすると車体に変形する恐れがありますので、絶対に過度な運転はしないでください。悪路走行時はスピードを充分おさえ、ゆっくりと走行してください。
- 車両を後退させる時は、リアラダー及び、アタッチメントの必要スペースを考慮し、障害物等に充分ご注意ください。特に車庫入れの際は、車輪止め等に頼らず、必ず目視で後方スペースを確認しながら後退してください。
- ラダー昇降時に、ラダーに過度な衝撃は絶対に与えないでください。リアハッチが変形する恐れがあります。ラダーの昇降は、ゆっくりと静かに行なってください。
- リアラダー積載時には、洗車機での洗車はできません。洗車機での洗車は、リアハッチの変形、車室内水入り、その他が起こる場合があります。
- リアラダーには、用途に合わせた専用アタッチメントをご使用ください。専用アタッチメントをご使用頂かないと、積載物の積載はできません。
- スキー板を積載した時には、屋根付き駐車場等の高さ制限のある場所及び、樹木が繁っている場所での走行は、特にご注意ください。

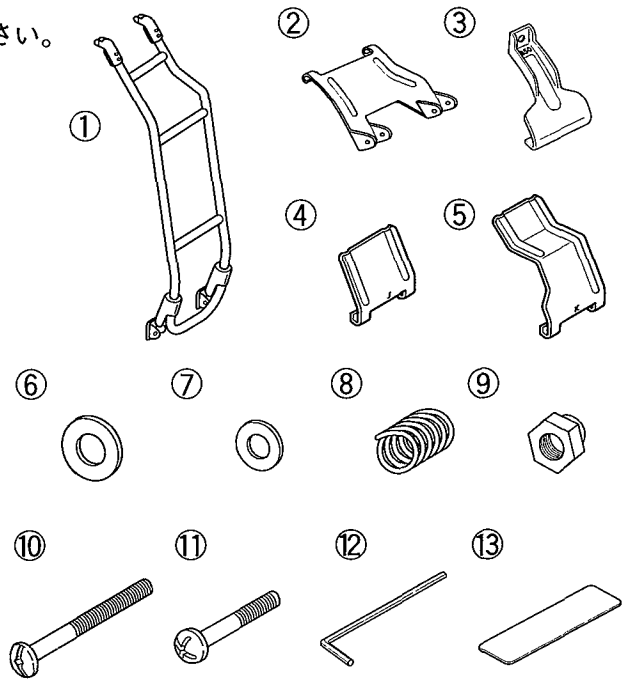
## メンテナンスについて

- リアラダーは防錆性に優れていますが、長くお使い頂く為に、メンテナンスを行なってください。
- リアラダーの塗装及び、コーティングにキズ等が付きましたら、錆びの発生の原因となりますので、タッチペイント等でキズ等を修正してください。
- 汚れを拭き取る場合は、中性洗剤を使用して柔らかい布か、スポンジで拭き取ってください。尚、レザーワックス、タイヤワックス及び、シンナー等、有機溶剤は使用しないでください。
- ボルト類は、ときどき動かしてください。長期間放置しますと、異物等の付着により、動かなくなる場合があります。
- リアラダーを外して保管する場合は、泥・汚れ等を落とし、水気のない場所に保管してください。

## 部 品 内 容

梱包品が全部そろっている事を確認してください。  
足りない場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

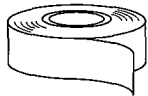
- ①リアラダー本体 ..... 1個
- ②アッパーホルダー (No.809) ..... 1個
- ③ロアーホルダー (No.850) ..... 2個
- ④補強プレート/ロアー右側用 (J) ..... 1枚
- ⑤補強プレート/ロアー左側用 (K) ..... 1枚
- ⑥平ワッシャー (大) ..... 4枚
- ⑦平ワッシャー (小) ..... 4枚
- ⑧スプリング ..... 2個
- ⑨袋ナット ..... 2個
- ⑩六角穴付ボルト (M8,L=100mm) ..... 2本
- ⑪十字穴付ボルト (M5,L=55mm) ..... 2本
- ⑫六角レンチ ..... 1本
- ⑬アッパー用ガードテープ ..... 1枚



## 必 要 工 具

リアラダーの取り付けには、以下の工具をご用意ください。指定以外の工具を使用すると、車両にキズを付けたり、ボルト類破損等の恐れがありますのでご注意ください。

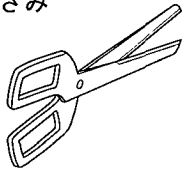
- マーキング用テープ  
(ビニールテープ 又は  
マスキングテープ)



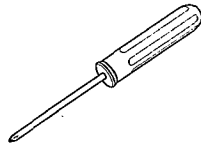
### △注意

- マーキングに使用するテープ類は、ビニールテープ等の粘着力の弱いもの、又は車体塗装専用マスキングテープ等を使用してください。粘着力の強いテープ (ガムテープ等) を使用すると、車体塗装を傷める場合があります。

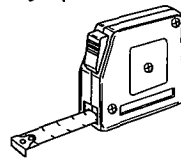
- はさみ



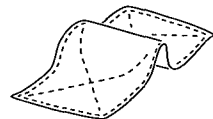
- ⊕プラスドライバー



- メジャー

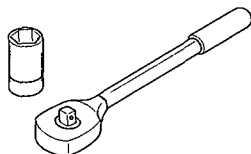


- ウエス (布やタオル)

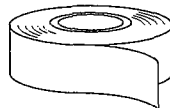


以下は、リアデフレクター装着車及びナンバープレートガーニッシュ装着車にリアラダーを取り付ける際に、必要な工具です。

- ラチェットレンチ  
+ディープソケット (10mm)



- 両面テープ



- 剥離剤



## 作業を始める前に……

- 車両は、ギアをニュートラル又はパーキングポジションにし、サイドブレーキをかけ、エンジンを停止させて、キー（鍵）を抜いておいてください。
- 作業は平らな場所で、十分なスペースと安全を確保して行なってください。
- 作業の前に、必ずリアハッチの汚れ、ほこり等をきれいに拭き取ってください。そのままリアラダーを取り付けるとリアハッチにキズが付く場合がありますので、ご注意ください。
- 作業の前に、車両に付属している車両取扱説明書等で、車両側の部品名等を確認してください。
- 作業の際に、リアラダー等で車体にキズを付けないよう充分にご注意ください。
- ボルト類の締め付けは、確実に行ってください。
- 作業は、必ず2人以上で行なってください。
- 長時間リアハッチを開けておくと、バッテリー上がりの原因となりますのでご注意ください。
- この取扱説明書の最後に、位置合わせ用のスケールがありますのでご利用ください。

注1) リアデフレクター等、車両の装備により、取り付け作業手順が異なります。取り付ける車両の装備品を確認してください。

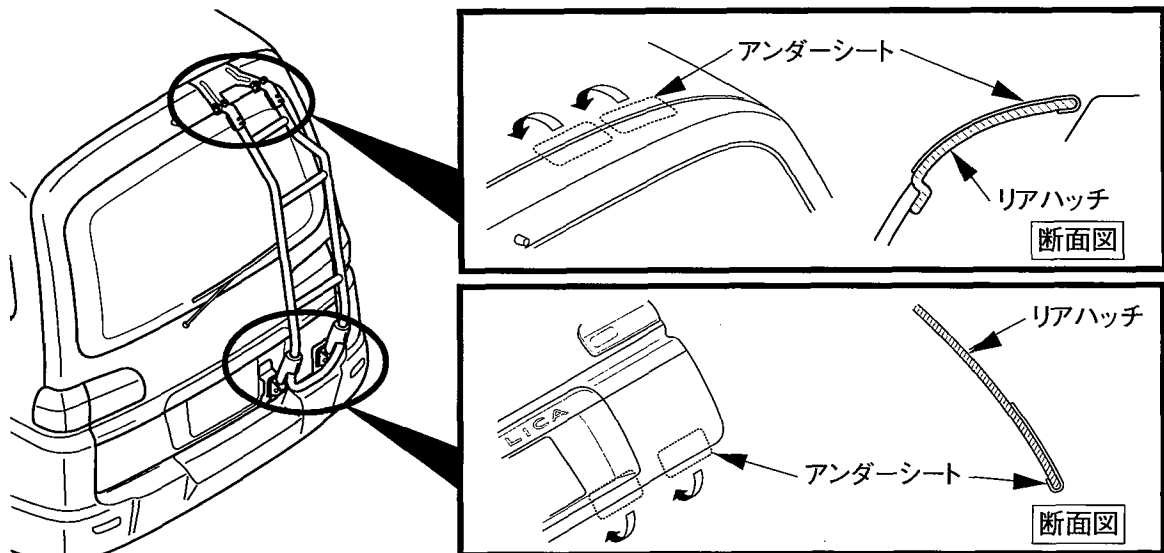
注2) 本取扱説明書中のイラストは、取り付け作業をする上で各部品及び各部分の特徴を強調する為に、実際の形状と詳細が異なる場合があります。

別売のEA19アンダーシートをご使用頂くと、リアハッチのキズ防止に役立ちます。

アッパーホルダー及び、ローホルダーを取り付ける部分にアンダーシートを貼り付けてください。

**注意**

アンダーシートは、再塗装車には使用しないでください。  
剥がす際、塗装面が剥がれる恐れがあります。



## 【1】 取り付け車両の準備

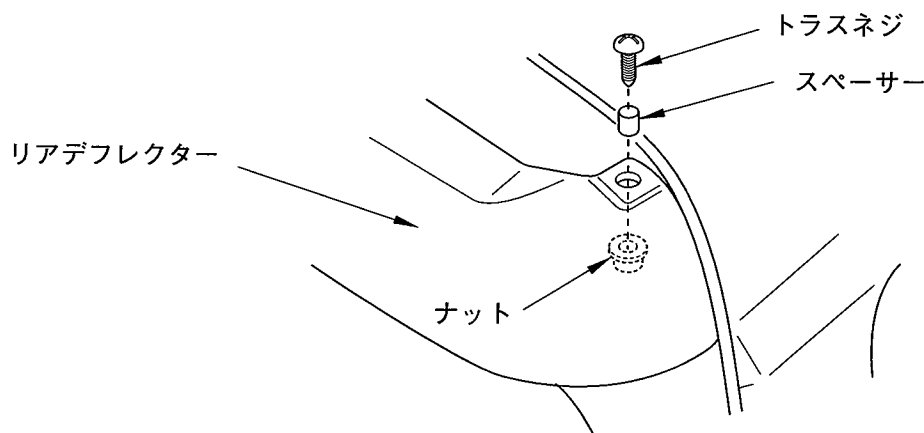
### [1] リアデフレクターの取り外し

この作業は、リアデフレクター装着車のみ行なってください。  
→未装着車は、7ページの作業へ進んでください。

#### ⚠注意

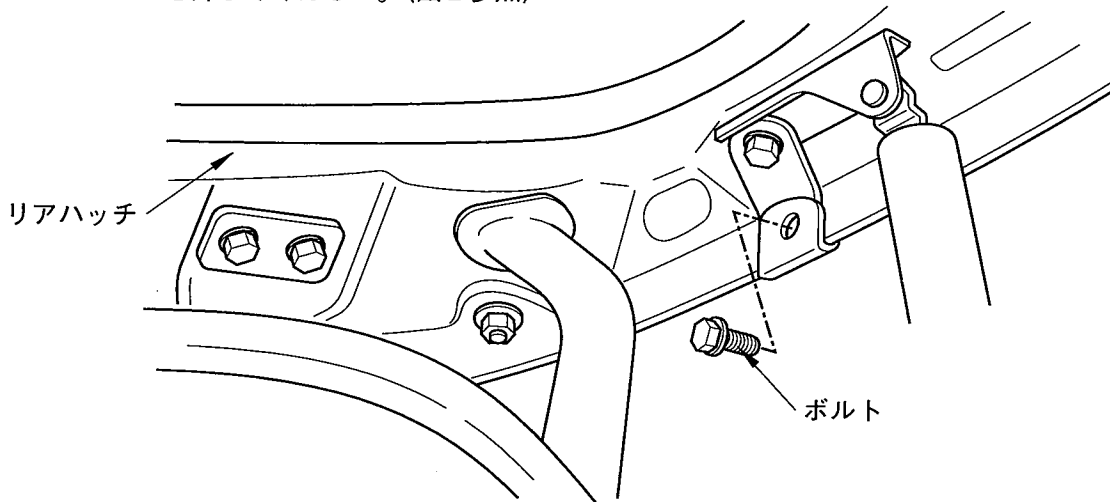
- リアデフレクターが装着されている車種は、(1) から (3) の手順で取り外し、リアラダーの取り付けを行なった後、逆の手順でリアスポイラーの取り付けを行なってください。
- リアデフレクターは、衝撃が加わると破損する恐れがありますので、取り扱いには充分注意してください。
- リアデフレクターにより、車体にキズを付けないよう、ご注意ください。
- 作業中、取り外した部品類は、紛失しないようご注意ください。再度、取り付けに使用します。

(1) リアデフレクター両端部のトラスネジを外してください。〈図1参照〉



〈図1〉

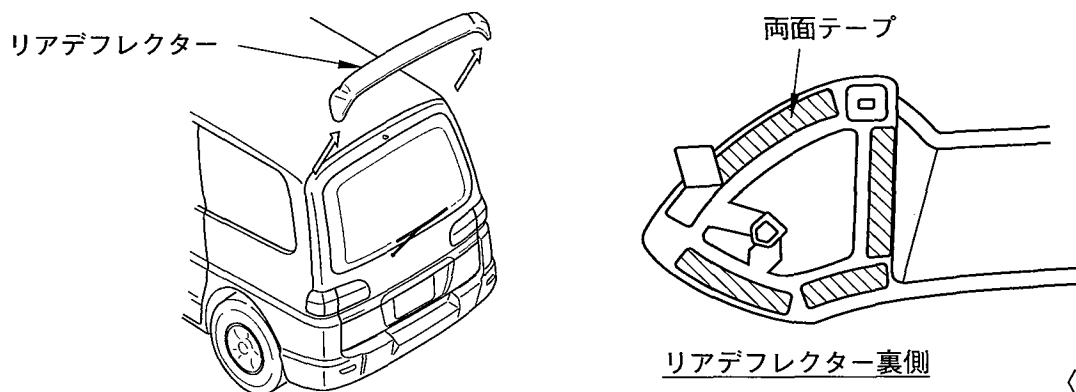
(2) リアハッチをゆっくりと開け、リアハッチ内側のダンパー付近にあるリアデフレクターの金具のボルトを外してください。〈図2参照〉



〈図2〉

- (3) リアデフレクター両端が両面テープで貼り付けられていますので、剥離剤（ステッカー剥がし等）を浸しながら、ゆっくりと少しずつ剥がして、リアデフレクターを取り外してください。

〈図3参照〉



〈図3〉

### ⚠注意

強力両面テープの為、無理に剥がそうとしますとリアデフレクターが割れる恐れがありますので、充分ご注意ください。又、剥離剤を使用する際、塗装面に異常が出ないかどうか目立たない所で試してから使用してください。

## [2] ナンバープレートガーニッシュの取り外し

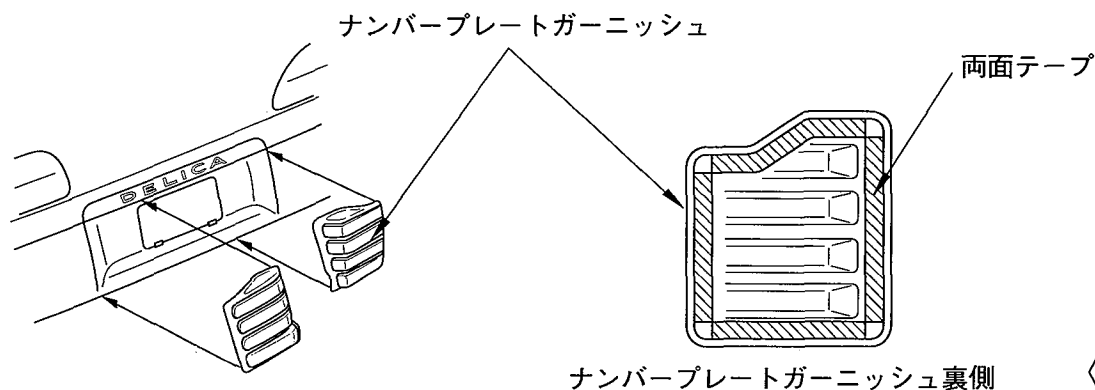
この作業は、ナンバープレートガーニッシュ装着車のみ行なってください。

→未装着車は、7ページの作業へ進んでください。

### ⚠注意

- ナンバープレートガーニッシュが装着されている車種は、次の手順で取り外してください。
- ナンバープレートガーニッシュは衝撃が加わると破損する恐れがありますので、取り扱いには充分注意してください。
- ナンバープレートガーニッシュにより、車体にキズを付けないよう、ご注意ください。
- 取り外したナンバープレートガーニッシュは、大事に保管しておいてください。
- ナンバープレートガーニッシュは強力両面テープで貼り付けられている為に無理に剥がそうとしますとナンバープレートガーニッシュが割れる恐れがありますので、充分ご注意ください。又、剥離剤を使用する際、塗装面に異常がでないか目立たない所で試してから使用してください。

- (1) ナンバープレートガーニッシュは両面テープで貼り付けられていますので、剥離剤を浸しながら、ゆっくりと少しずつ剥がしてください。〈図4参照〉



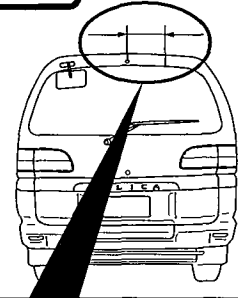
〈図4〉

## [2] リアラダーの取り付け

### [3] ガードテープの貼り付け

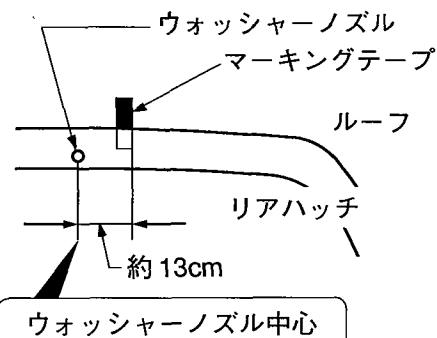
リアラダーを取り付けた際に、アッパーホルダーとルーフがこすれた場合のキズ付きを防ぐ為に、ルーフに、アッパー用ガードテープ（部品⑬）を1枚貼り付けます。（図5参照）  
 貼り付け位置を図のようにマーキングし、ガードテープ裏の保護紙を剥がしてルーフに貼り付けてください。ガードテープ貼り付け後、マーキングテープを剥がしてください。

真後ろから見た図



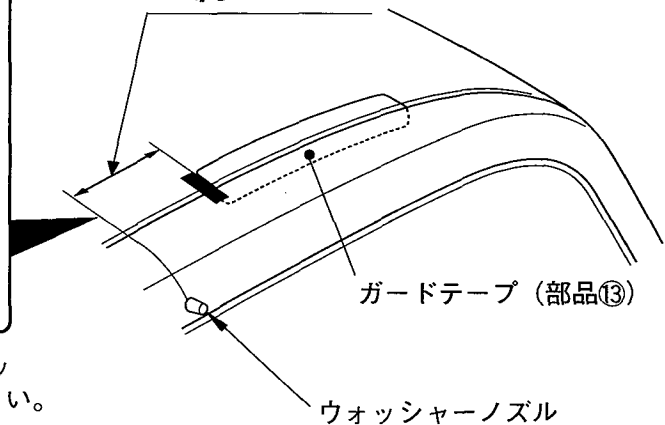
#### ルーフ への貼り付け

※マーキングテープを貼る位置にご注意ください。



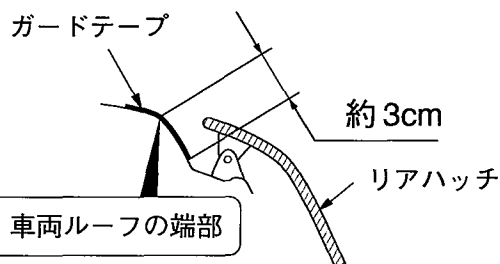
ルーフ上から見た拡大図

約13cm



- 車両ルーフの端部から約3cm リアハッチ側へ落としこんで貼り付けてください。

断面図



〈図5〉

## ⚠ 注意

- ガードテープを貼り付ける前に、必ずルーフの汚れ、ほこり等をきれいに拭き取ってください。そのままガードテープを貼り付けると十分な接着状態が得られず、ガードテープが剥がれる恐れがあります。
- マーキングに使用するテープ類は、ビニールテープ等の粘着力の弱いもの、又は車体塗装専用マスキングテープ等を使用してください。粘着力の強いテープ（ガムテープ等）を使用すると、車体塗装を傷める場合があります。

## [4] 補強プレート／ロアー用の取り付け

リアハッチのアームベースがのる位置に、補強プレートを貼り付けます。

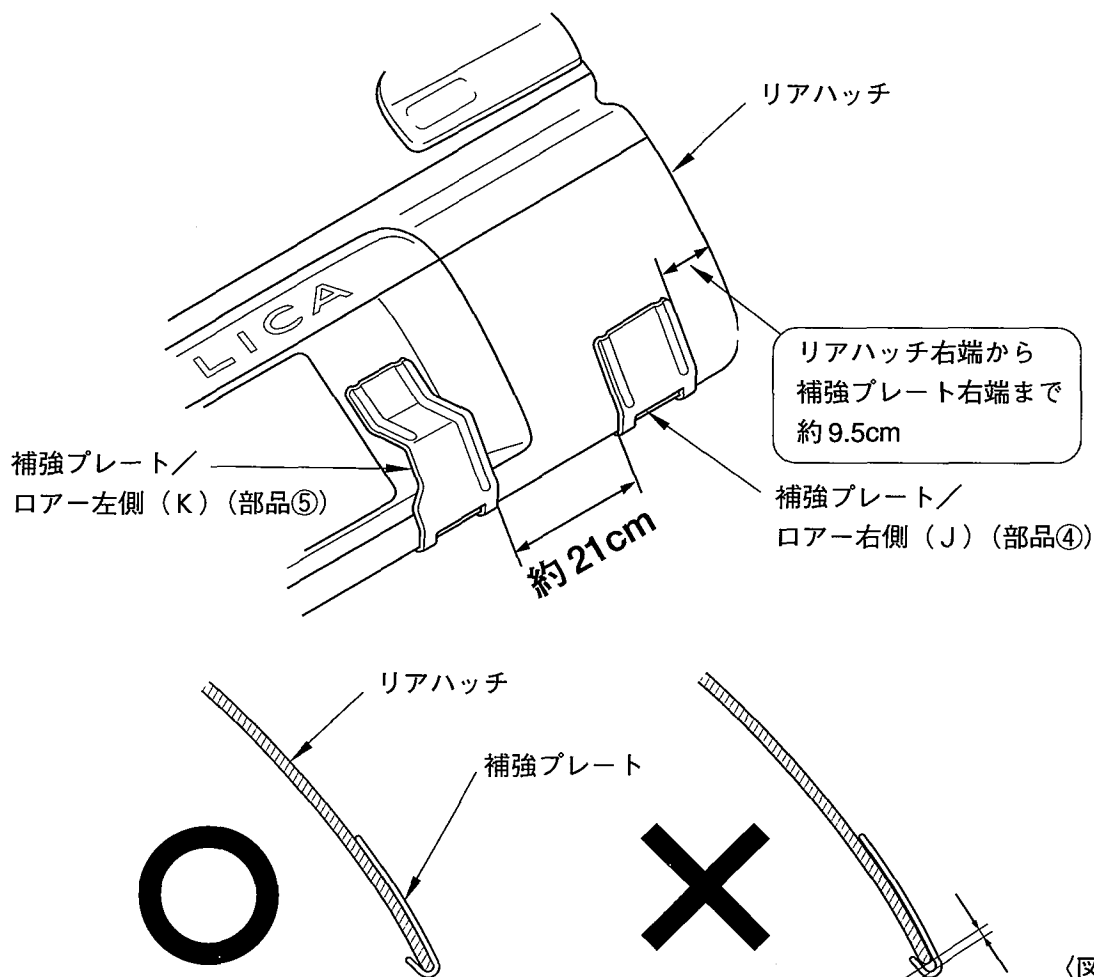
### ⚠️ 注意

- 貼り付け位置は、間違わないように確実に指定位置に貼り付けてください。間違えた場合は、速やかに剥がし、貼り直してください。時間が経過して、完全に貼り付いてしまった場合は、剥離剤等を浸しながらゆっくりと剥がしてください。(剥離剤を使用する際は、目立たない場所で塗装面に異常がでないかどうか試してから使用してください。) その場合、両面テープは再生不可となりますので、別にご用意ください。

補強プレート／ロアー用、裏面の保護紙を剥がし、リアハッチの〈図6〉に示す位置に、引っ掛けながら貼り付けてください。〈図6参照〉

### ⚠️ 注意

- 右側に補強プレート (J) を、左側に補強プレート (K) を貼り付けてください。



〈図6〉

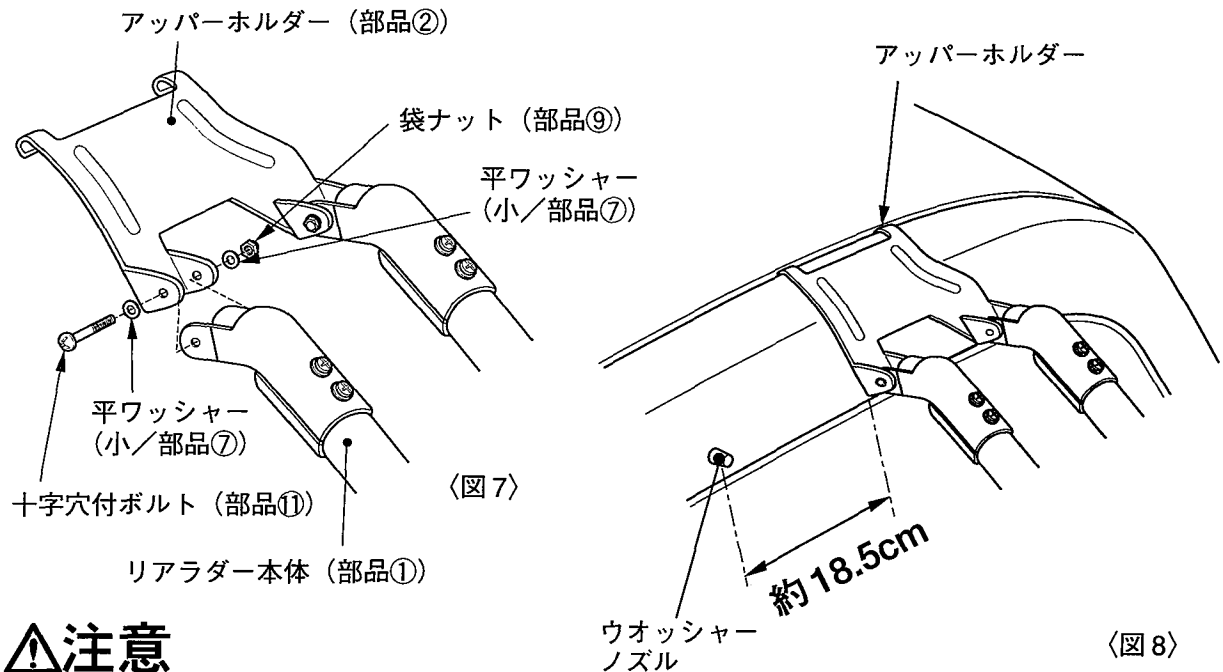


## [5] リアラダー本体の取り付け

リアラダー本体(部品①)の先端部に、アッパーホルダー(部品②)を袋ナット(部品⑨)、平ワッシャー(小/部品⑦)、十字穴付ボルト(部品⑩)にて、取り付けてください。〈図7参照〉

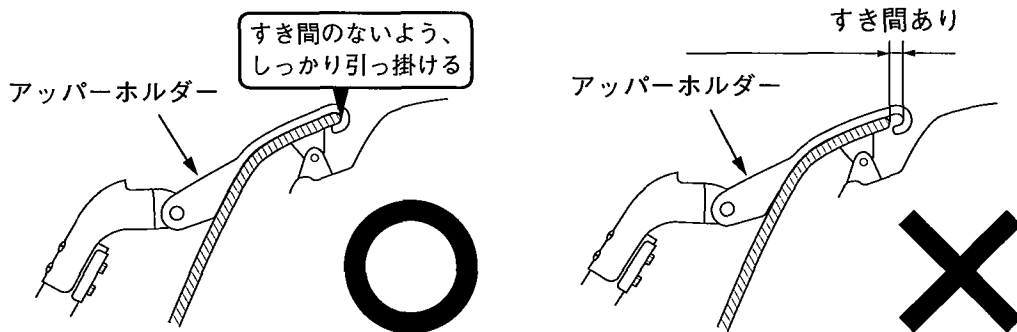
※ 尚、袋ナット(部品⑨)は確実に締め込んでください。

その後、アッパーホルダーの先端を下記の寸法に従って、リアハッチに確実に引っかけてください。〈図8参照〉

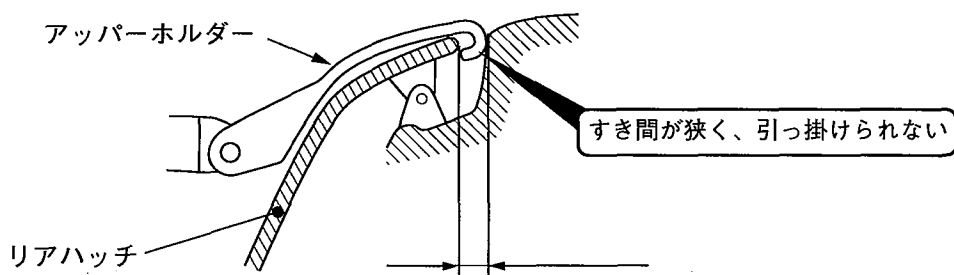


### ⚠注意

- リアラダーを取り付ける際、ルーフ及びリアハッチ等にキズを付けないよう、充分注意してください。



- リアハッチとルーフのすき間が狭く、アッパーホルダーが引っ掛けられない場合は、無理に引っ掛けず、後述の『[7] アッパーホルダー接触確認』の注意項目を参照してください。

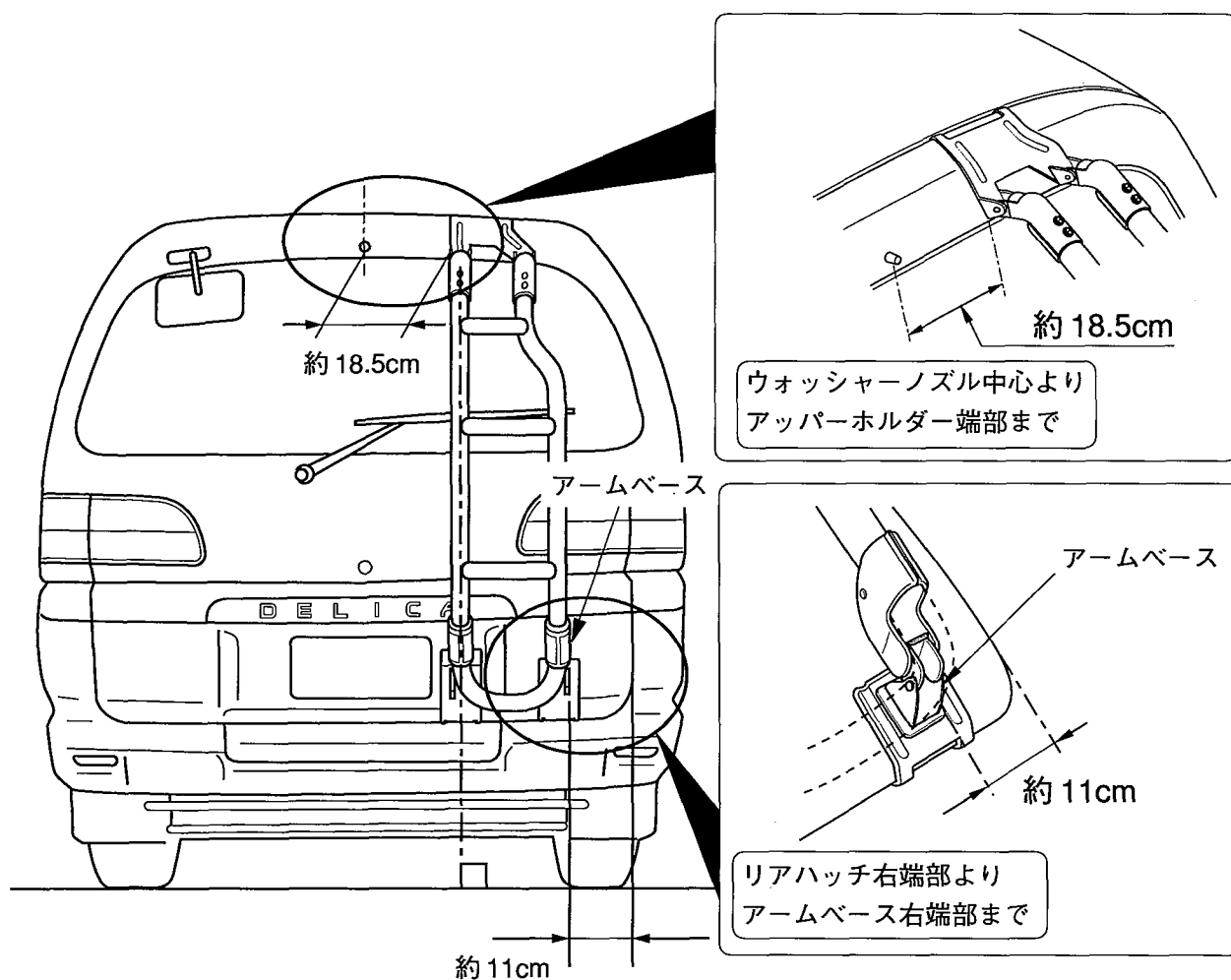


## [6] リアラダー本体の位置決め

〈図9〉を参考に、リアラダー本体の位置決めを行なってください。

### ⚠注意

- ホルダー形状により、この図の位置以外には取り付けできません。指定位置以外に取り付けると、リアハッチの変形につながります。
- 車体のバラツキ等により、リアラダー本体の取り付け位置が、左右に5mm～1cm程度前後する事があります。
- リアラダーが地面に対して垂直になっているか、後ろ正面から確認してください。
- アームベースのゴムベースが外れないようご注意ください。



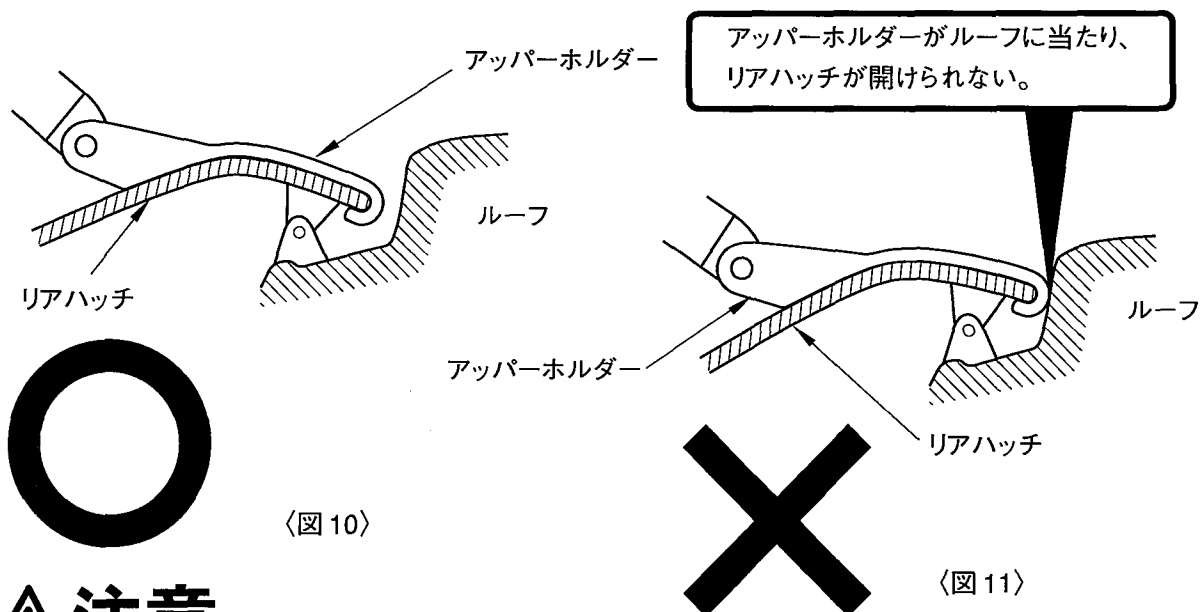
〈図9〉

- リアラダーが地面对して垂直（90°）になっているか、後ろ正面から確認してください。
- アームベースが補強プレートにきちんとのっているか確認してください。

## [7] アッパーホルダー接触確認

リアハッチをゆっくりと開け、アッパーホルダーと車両ルーフが接触しないかどうか確認してください。接触し、リアハッチを開けられない場合は、無理に開けようとせず、下記「アッパーホルダーが接触する場合には…」をご参照ください。〈図10及び図11参照〉

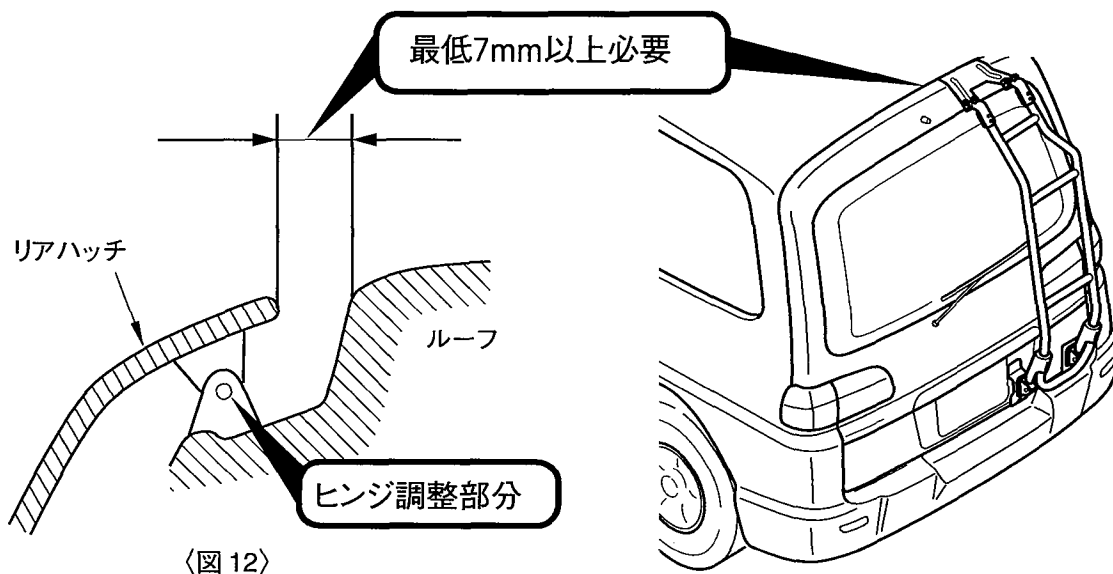
無理に開けようとすると、車体にキズを付けたり、破損する恐れがあります。



### ⚠️ 注意

#### アッパーホルダーが接触する場合には…

車両側のバラツキにより、リアハッチとルーフのすき間が狭い場合があります。その場合、アッパーホルダーと車体側が接触し、車体をキズ付けたり、破損したりする恐れがありますので、必ず、カーディーラー等でリアハッチのヒンジ調整を行ない、すき間を最低でも7mm以上に広げてください。ヒンジ調整後、改善されていない場合は、接触しなくなるまで広げてください。〈図12参照〉

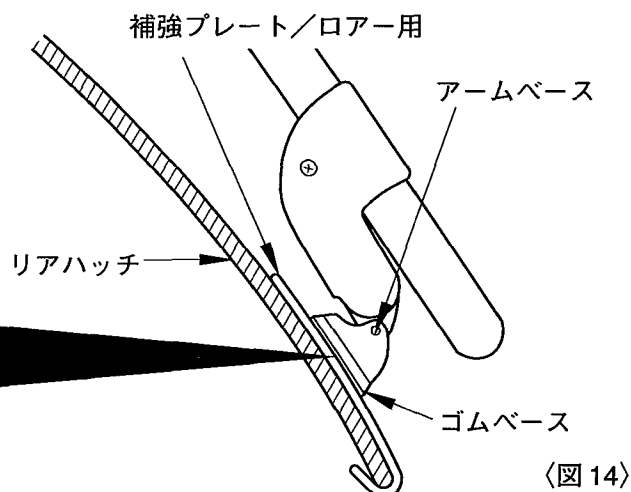
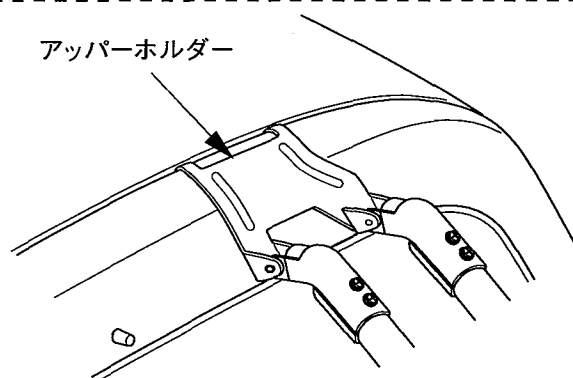
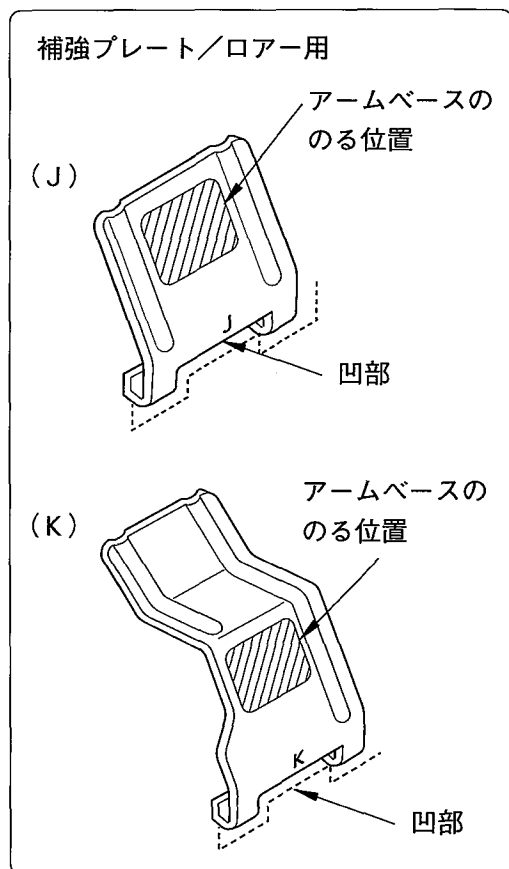


## [8] リアラダー本体の固定準備

再度、リアラダーをリアハッチに引っ掛け、「[6]リアラダー本体の位置決め」の〈図8〉を参照して、再度、位置決めを行ない、リアラダーのアームベースを補強プレート/ロアー用にのせてください。  
 〈図13及び図14参照〉

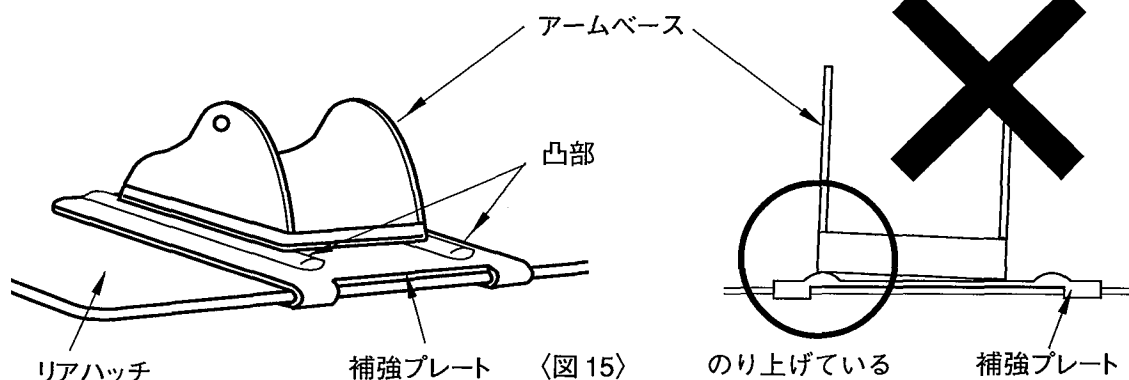
### ⚠️ 注意

- アームベースのゴムベースが外れないよう、ご注意ください。
- 車体に対して、リアラダー本体が垂直になっているか、後正面から確認してください。



### ⚠️ 注意

- アームベースの位置が〈図15〉のように、補強プレート/ロアー用の凸部にのり上げてしまう場合、「[6] リアラダー本体の位置決め」に戻り、再度やり直してください。

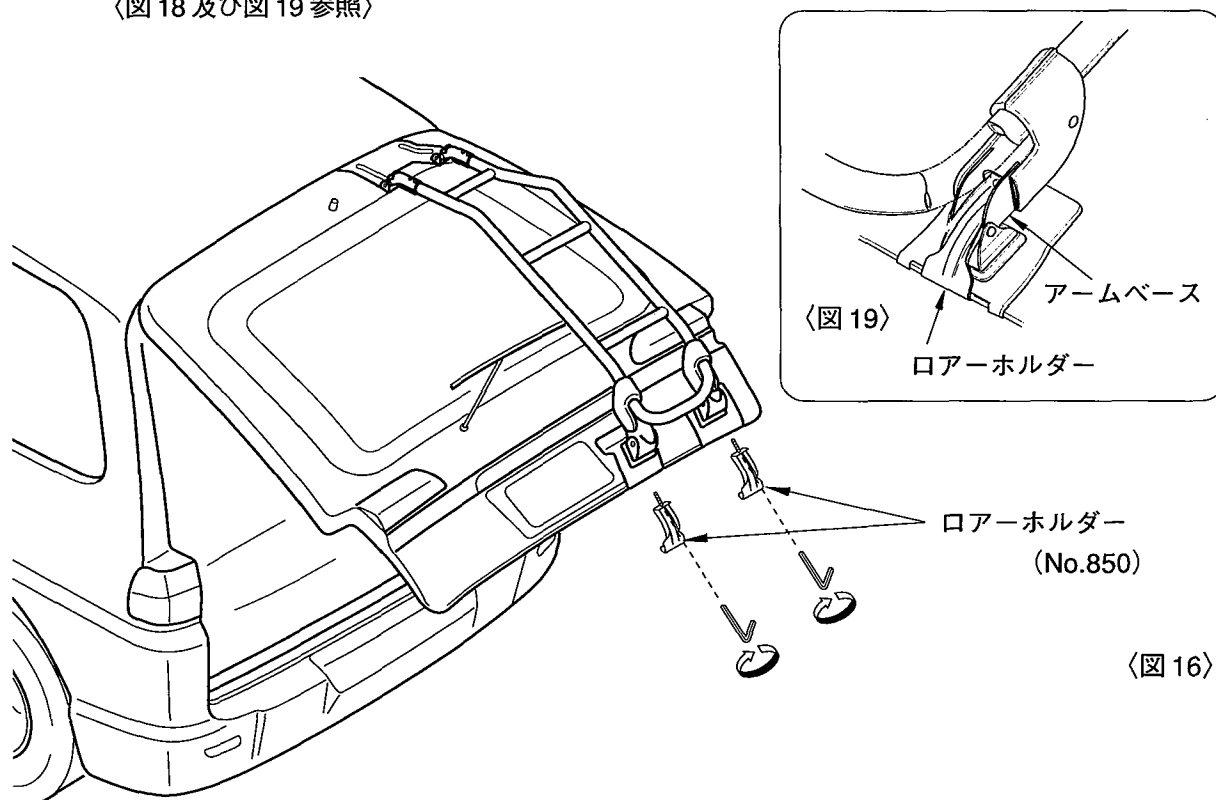


## [9] リアラダー本体の固定

〈1〉 リアハッチを半分程度まで、ゆっくりと開けてください。

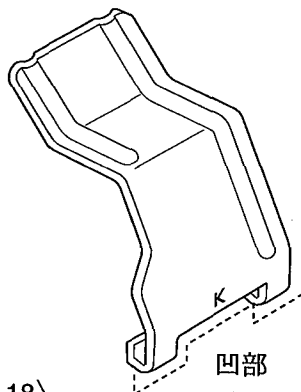
〈2〉 ロアーホルダー (No.850) (部品③) に、平ワッシャー (大/部品⑥)、スプリング (部品⑧)、六角穴付ボルト (M8,L=100mm/部品⑩) をセットしてください。  
 〈図 16 及び図 17 参照〉

〈3〉 ロアーホルダーを補強プレート/ロアー用の凹部分のバックドアに確実に引っ掛けながら、六角穴付ボルトをアームベースのナット部に仮止めしてください。  
 〈図 18 及び図 19 参照〉

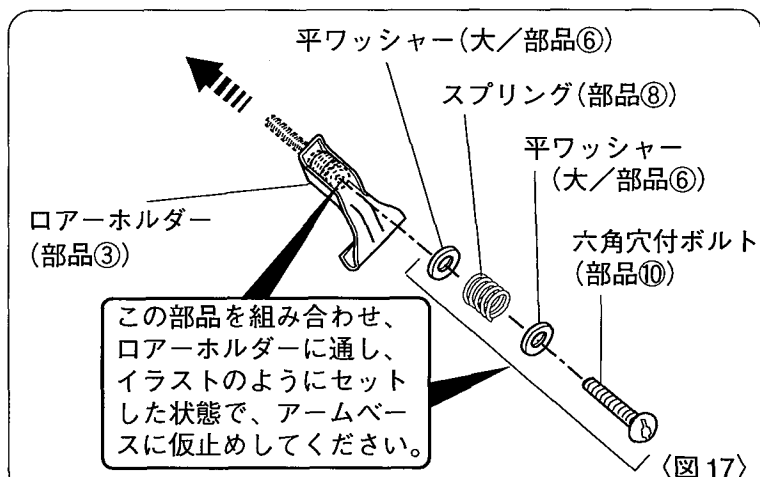


〈図 16〉

補強プレート/ロアー用 (K)  
 (部品⑤)



〈図 18〉



〈図 17〉

## [10] ロアーホルダーの締め付け

ロアーホルダーを左右交互に均等に少しずつ締め付けてください。

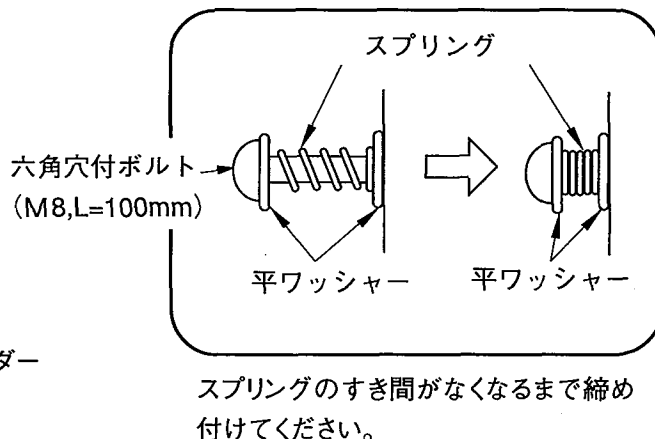
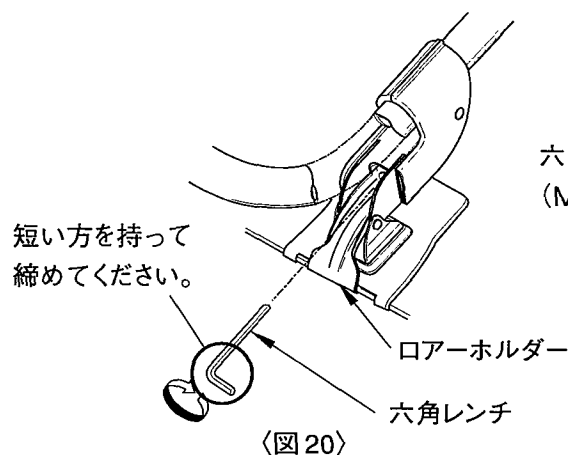
スプリングのすき間がなくなるまで締め付けたら、一度リアラダーをゆすり、しっかりと固定されているか確認してください。

ガタツキがある場合は、様子を見ながら少しずつ（1～2回転ずつ）左右均等に増し締めしてください。

〈図20及び図21参照〉

### ⚠ 注意

- ロアーホルダーを必要以上に締め過ぎると、凹みや曲がり等のリアハッチ損傷の原因となる場合があります。
- 締め付けの際の六角レンチは、短い方を持って締め付けてください。長い方を持って締め付けると、締め過ぎる場合があります。

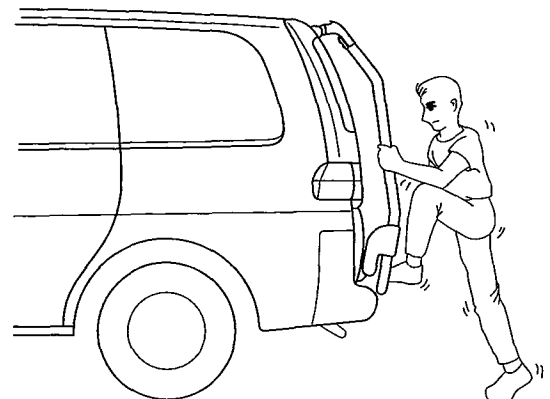


## [11] リアラダーの増し締め

リアラダーを固定したら、リアラダーにゆっくりと力をかけ、ロアーホルダーにゆるみがないか確認してください。ゆるみがある場合は、『[10] ロアーホルダーの締め付け』に従って、増し締めを行なってください。〈図22参照〉

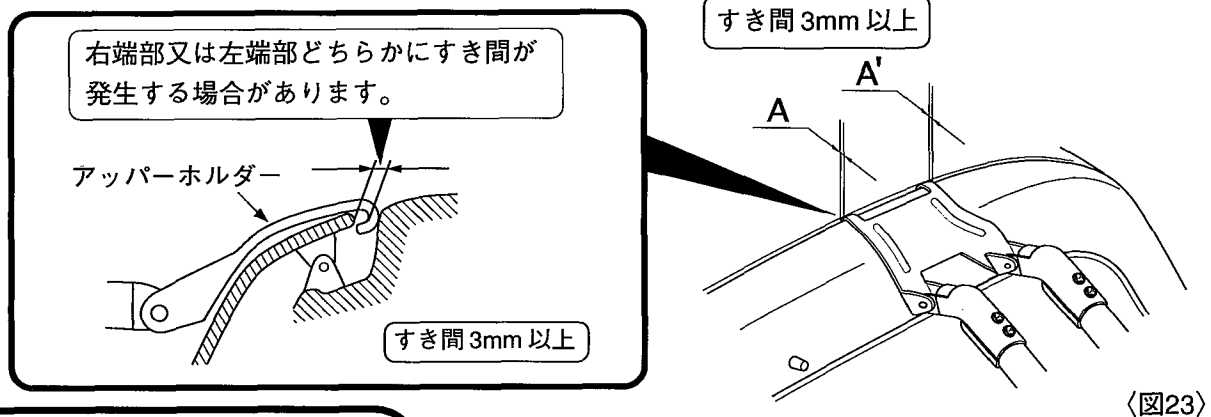
### ⚠ 注意

- リアハッチの開閉を頻繁に行なっていると、ゆるみが発生する場合がありますので、定期的にロアーホルダーのゆるみがないかどうか、点検を行なってください。
- スキーアタッチメント及びスキー・スノーボード等を積載した時は必ず試験走行を行ない、ゆるみの有無を確認及び増し締めを行なってください。又、定期的にゆるみの有無の確認を必ず行なってください。



## [12] リアラダー本体の取り付け確認

ローホルダー締め付け完了後、車体側のバラツキ等により、横から見てアップホルダーとバックドア端部とのすき間（3mm以上）が発生してしまう場合があります。その場合、バックドアを開けると、アップホルダーとルーフが干渉し、バックドア及びルーフが損傷する恐れがありますので、バックドアを開けずに、下記の『リアラダー調整方法』に従って、調整を行なってください。（図23参照）



### リアラダーの調整方法

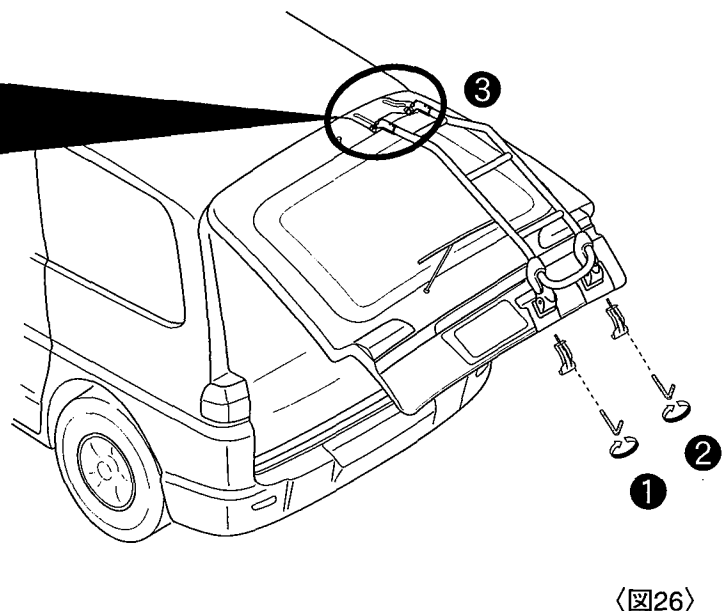
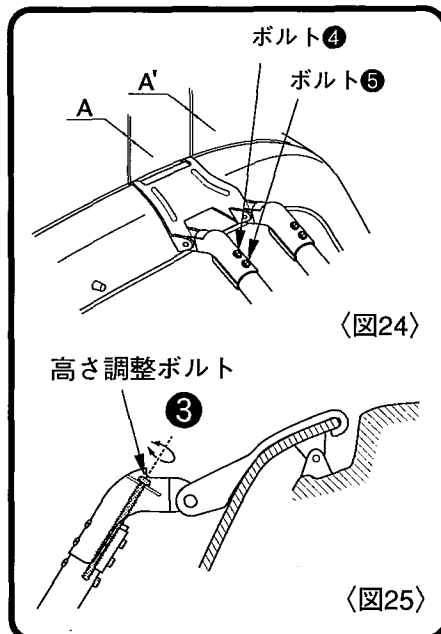
- 1 アップホルダーのすき間（3mm以上）が、右端部又は左端部のどちらに発生しているのか確認した後、ローホルダー（①②）をゆるめてください。（図24及び図26参照）

#### アップホルダーの左端(A)にすき間がある場合

- 2 ボルト（④⑤）を2本ゆるめた後、アップホルダーの高さ調整ボルト（③）を締め付けますとすき間が解消しますので、アップホルダーのすき間（A-A'）が左右均等になるように調整してください。（図24及び図25参照）

#### アップホルダーの右端(A')にすき間がある場合

- 2 ボルト（④⑤）を2本ゆるめた後、アップホルダーの高さ調整ボルト（③）をゆるめますとすき間が解消しますので、アップホルダーのすき間（A-A'）が左右均等になるように調整してください。（図24及び図25参照）



- ③ ボルト (④⑤) を2本締め付けた後、ロアーホルダー2ヶ所を左右交互 (①②の順序) に均等にガタツキがない程度までゆっくりと締め付けてください。〈図24及び図26参照〉

### ⚠注意

- 締め付けの際は、『[9] リアラダー本体の固定』及び、『[10] ロアーホルダーの締め付け』を参照して行なってください。

- ④ アッパーホルダーにすき間がない事を確認してください。〈図24参照〉

- アッパーホルダーにすき間 (3mm以上) が発生している場合には、前ページの「リアラダーの調整方法」に戻り、再度取り付け直してください。

- ⑤ ロアーホルダー固定後、バックドアをゆっくりと開け、アッパーホルダーとルーフが干渉しない事を確認してください。〈図24及び図26参照〉

- 尚、以上の作業を行ってもアッパーホルダーとルーフが干渉し、バックドアがいっぱいには開けられない場合は、『[7] アッパーホルダー接触確認』のヒンジ調節が必要となりますので、カーディーラー等にご相談ください。

## [13] リアデフレクターの取り付け

この作業は、リアデフレクター装着車のみ行なってください。→未装着車は作業終了です。

### ⚠注意

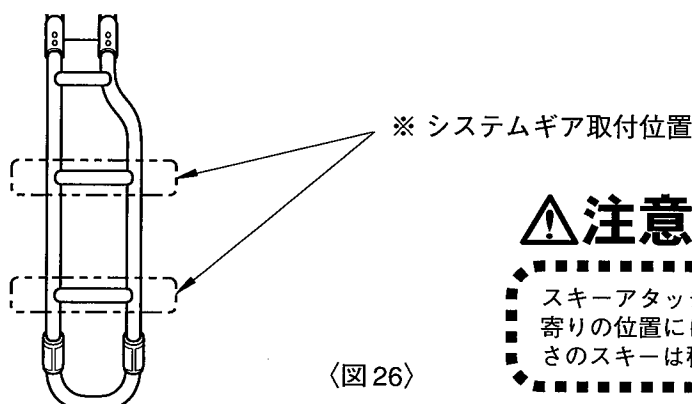
- リアデフレクターは、衝撃が加わると破損する恐れがありますので、取り扱いには充分注意してください。
- リアデフレクターにより、車体にキズを付けないよう、ご注意ください。

リアラダーを車体にしっかりと固定しましたら、リアデフレクターを外し方と逆の手順で元通りに取り付けてください。

※この時、リアデフレクターの両面テープは、取り替えてください。又、リアデフレクターの配線をはさまないようにご注意ください。

## 【3】 システムギアを取り付ける際には……

別売のリアラダー専用システムギア (下記参照) は、〈図26〉に示す部分に取り付けてください。〈図26参照〉



### ⚠注意

- スキータッチメントの最もナンバープレート寄りの位置には、ナンバープレートが隠れる長さのスキーは積まないでください。

## TERZO SPORTS PROJECT JAPAN

PIAA (株) 本社・青山 東京都渋谷区神宮前 5-52-2 TEL 03-5423-5011